

Polje

[ポリエ]とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには建っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX:08396-2-2622
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

秋吉台 雨とカメラときれいな花と・・・

梅雨入りしても雨は降ったり止んだりで水不足気味。それでも雨が降るごとに秋吉台の草原の草の緑は濃くなります。そこを吹く風はまさに緑の風。このまま夏本番に入ってしまうのかと思いきや、下旬になって連日の雨続き。気温も少し下がって涼しいやら肌寒いやら、そして蒸し暑いやら。花の写真を撮りに出かけたのはやまやまだけど、買って間もない新品カメラを雨にぬらすのはまだ早いと小さなこだわり。しかし、今しか見れないものは今しかない。ない知恵を絞って、ぬれない工夫。やっぱり出かけるしかない。



季節の花 見つけて出会う ラン ラン ラン

ムヨウラン 少し暗い林の中などに生えるラン科の腐生植物。花は淡褐色から暗紫色なので、よく見ないと気が付きません。花の形はランですが、その名前のおり葉はありません。毎年見ているところでは、花茎が伸び始めても途中で腐ってしまうものが多いです。

カキラン 秋吉台では日当たりの良い草原に生えるラン科の多年草。花の色が柿色をしていることからの名前。ひと目でランの花と分かるきれいな花です。草の中に紛れて咲いていますが、花が目立ちすぎるので、探さなくても草原を見渡せば必ず見つかります。

ササバラン 日当たりの良い草原に生えるラン科の多年草。花は淡緑色から茶褐色と様々です。小さくて地味なのと、名前のおり葉がササの葉に似ているため目を凝らして探さないと見つからないかもしれません。見つけてもちょっと目をそらすと消えてしまうかも。秋吉台で初めて見たときは、花だとは思いませんでした。



観察会「秋吉台のカタツムリ」 発見！！ ホラアナミジンナ ベニゴマオカタニシ

観察会「秋吉台のカタツムリ」を行いました。去年その前と悪天候だったので、3年ぶりの開催です。レクチャールームでカタツムリについて学んだ後、長者ヶ森へ移動。アツブタガイやコベソマイマイなど6種類のカタツムリとその天敵のマイマイカブリを観察。きれいな湧水のある所ではホラアナミジンナ、森の中の石灰岩の表面ではベニゴマオカタニシを確認。この2種類は非常に小さいためルーペで観察しました。



観察会「森の昆虫教室・カブトムシ」 元気なカブトムシにビックリ！！

観察会「森の昆虫教室・カブトムシ」を行いました。霧雨が降ったり止んだりでしたが、その分だけ暑さをしのげました。雨にぬれたエコフィールドで小さな昆虫たちは葉の裏に止まってじっとしているものもいます。ジャコウアゲハの幼虫はすでにサナギになっていました。後半はレクチャールームにもどって貴重な標本を見ながらお話を聞き、カブトムシの育て方を学びました。その後、講師の角田先生からカブトムシのオス・メスのペアがプレゼントされ、子供たちは興味津々、ちょっと興奮気味のようでした。



観察会「ブルービーの観察」 今日はどこへ行ってるの？

ルリモンハナバチの観察会「ブルービーの観察」を行いました。前日まで1週間ほどの雨続きでしたが、この日は曇、時おり日差しがあるものの、少し強い風が吹き涼しく感じました。ムラサキツメクサやカセンソウ、ヒメジョオンなどの花を見てまわったり、その近くでじっとしてブルービーがやって来るのを待っているとオオウラギンヒョウモンなどのチョウが飛んで来ました。少しずつ移動しながらようすをみましたが、この日はブルービーに出会えませんでした。時期が合わなかったのでしょうか。折を見て何度かようすをみたいと思い



7月の行事



7月12日(日) 観察会「森の昆虫教室・クワガタムシ」

野外での昆虫観察とクワガタムシの飼育法を学びましょう。

